



町民憲章

桑折町は、阿武隈川の清い流れと、緑につつまれた半田山のふもとにひらけた古い歴史をもつ由緒ある町です。わたくしたちは、この町の伝統ある歴史と文化、恵まれた自然環境を守り、さらに活力ある町に育て後世に引き継ぐために、町民みんなの誓いとしてここに町民憲章を定めます。

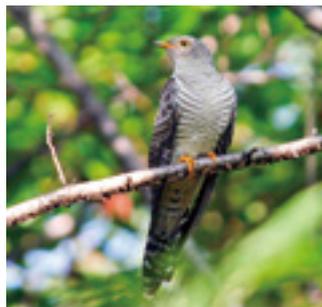
- 一、歴史と伝統を尊び、かおり高い
文化の町をつくりましょう
- 一、恵まれた自然を愛し、環境を整え
緑の町をつくりましょう
- 一、心身をきたえ、健康で
明るい町をつくりましょう
- 一、勤労にはげみ、活力ある
豊かな町をつくりましょう
- 一、きまりを守り、助け合う心を育て
住みよい町をつくりましょう

昭和60年9月制定



花 <モモ>

桑折の春を花霞で美しく彩ります。実はくだもの町を代表する逸品



鳥 <カッコウ>

美しさの中にどこか愛嬌のある鳴き声は、夏の訪れを告げる風物詩です



木 <アカマツ・カヤ>

桑折の大地が育んだ緑。どっしりと根を下ろし、町の四季を見守っています

桑折町章



カタカナ3文字で「コオリ」を表し、上半円で「コ」、下部で「オ」、中の白地で「リ」、全体的に弧を画く鵬おおとりで、桑折町の「和」と「飛躍」を表しています。また、ひらがなの「こ」に半田山を象徴しています。

(昭和40年制定)